

首都圏で十和田の魅力と暮らしを発信中！

市では、首都圏での移住相談会や移住お試しツアーを開催しています。インターネットでは調べることができない先輩移住者の生の声を届け、移住についての不安や疑問を解消することを目指しています。

青森・秋田・岩手の暮らし発見フェアに出展しました

7月9日、東京都のふるさと回帰支援センターで、北東北3県46自治体や関係団体による『青森・秋田・岩手の暮らし発見フェア』が開催され、昨年の1.5倍の155人が来場し、本市ブースには、首都圏在住の7組8人が来場しました。

当日は、「雪はたくさん降るの?」「農業を始めたい」などの相談がありました。また、「お試しで滞在してみたい」という声もあり、移住お試し住宅や9月に開催される移住お試しツアーを案内しました。

今後も市への定住促進のため、移住希望者の立場でじっくり話を聞いて有益な情報提供や支援に取り組んでいきます。



▲当日の相談の様子

日々コレ★イベント 情報

青森暮らしセミナー

とき 8月20日(土)
ところ 東京交通会館12階カトリアサロン
(東京都千代田区有楽町2-10-1)
※参加費無料・予約不要です。

移住お試しツアー

首都圏などに住み移住を希望する若者世代へ向けた、本市ならではの体験活動や先輩移住者との交流会、市内施設見学など、本市の魅力を発信するツアーです。
とき 9月24日(土)～25日(日)(1泊2日)
参加費 23,000円(東京駅⇄十和田市間の交通費含む)
申し込み・詳細はWeb<http://www.turns.jp/towada>

★お盆でご家族が帰省の際は、ぜひPRしてください。また平成29年度市職員募集も本紙11ページに掲載しています。

地域おこし協力隊（市街地地区隊員）任命 アートを活用したまちづくり

7月4日、市は地域おこし協力隊員に見留^{みとめ}さやかさん(29)を任命しました。見留さんは焼山地区、休屋地区に次いで3人目の協力隊員で、主に市街地地区を担当します。

業務は市街地でのアートプログラムの企画・提案、現代美術館と連携した観光・地域振興への活動支援、アートを活用した観光の企画などで、任期は最長平成31年度まで。委嘱状交付式では市長が「しっかりと市民とつながって活躍していただきたい。空き店舗を活用できるような取り組みを期待したい」と激励しました。

見留さんは「十和田市には小学校、高校のときに来たことがあります。当時は街が閑散としていましたが、今は現代美術館で活性化されています。自分もアートを中心に、ボランティアコーディネーターとして街中の声を聞き、一緒に仕事をしていきたい」と意欲いっぱい。

練馬区でブルーベリーの染糸で工芸品を作った経験があるため、南部裂織に興味があり、勉強したいと話す見留さんです。



PROFILE

1986年生まれ。東京都練馬区出身。明星大学造形芸術学部卒業後、練馬区立石神公園ふるさと文化館で働き、教育普及に関わるワークショップをボランティアの人たちと共に年間70回程度開催してきた。